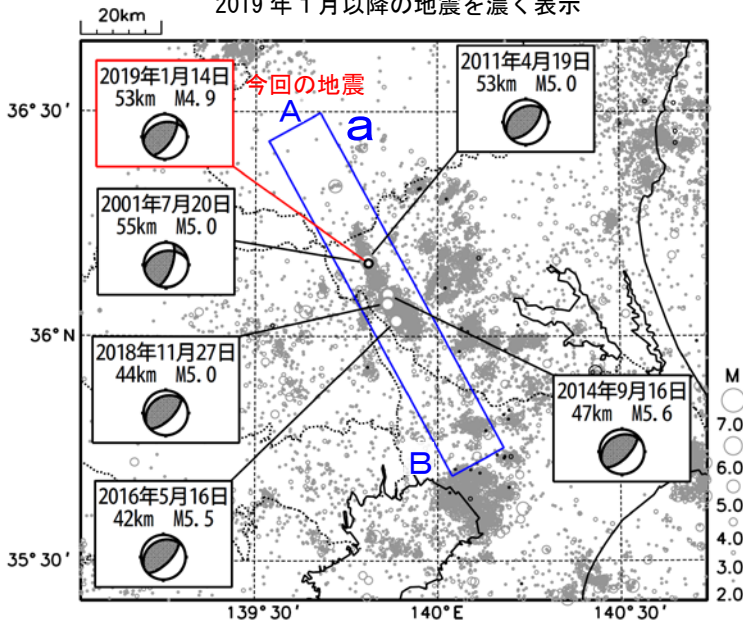


# 1月14日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2019年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )

2019年1月以降の地震を濃く表示

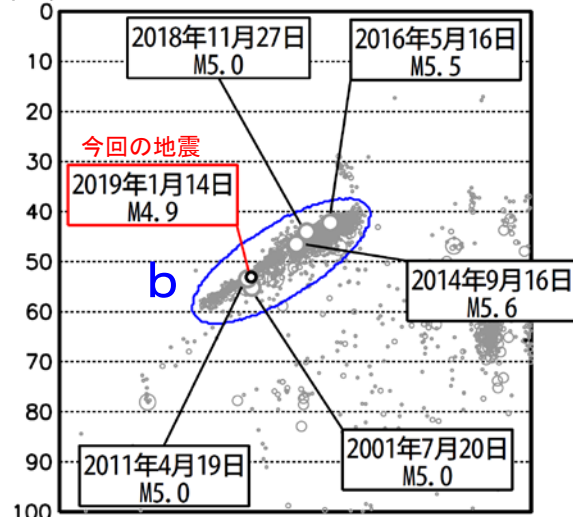


2019年1月14日13時23分に茨城県南部の深さ53kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

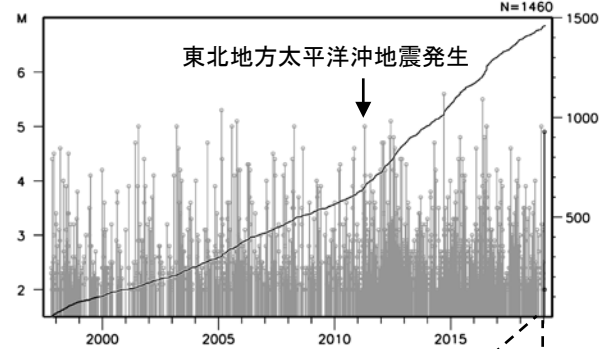
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、活動が活発な領域で、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、2014年9月16日にM5.6の地震(最大震度5弱)、2016年5月16日にM5.5の地震(最大震度5弱)が発生している。また、最近では、2018年11月27日にM5.0の地震(最大震度4)が発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

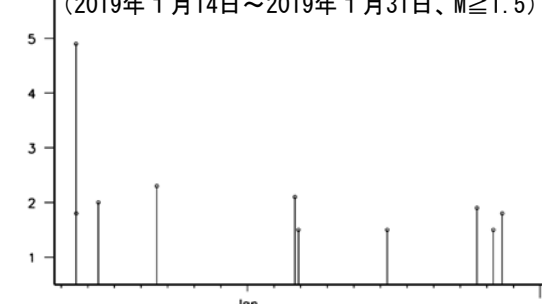
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

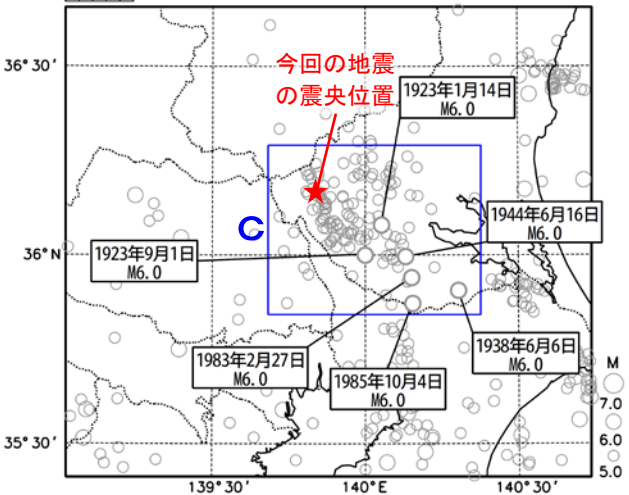


(2019年1月14日～2019年1月31日、 $M \geq 1.5$ )



震央分布図

(1923年1月1日～2019年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図及び回数積算図

